

1.市町民アンケート概要

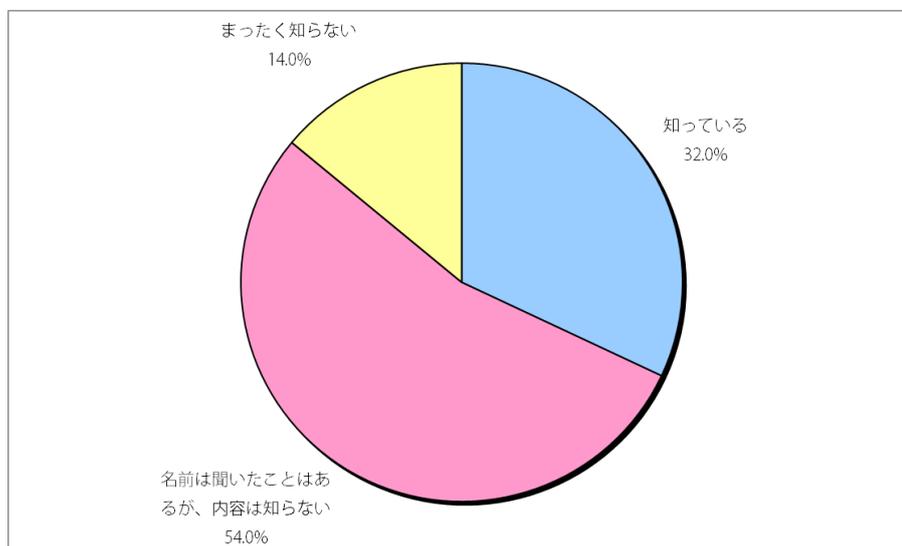
- 調査方法 アンケート専門サイトを用いたWebアンケート方式
- 調査期間 2013年12月19日(木)~24日(金)
- 有効回答数 350サンプル
- 調査対象者

地域	静岡県
性別	男女
年齢	15歳~85歳
その他条件	沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、清水町在住

- 質問項目 (各項目の結果・グラフのちほど追加)

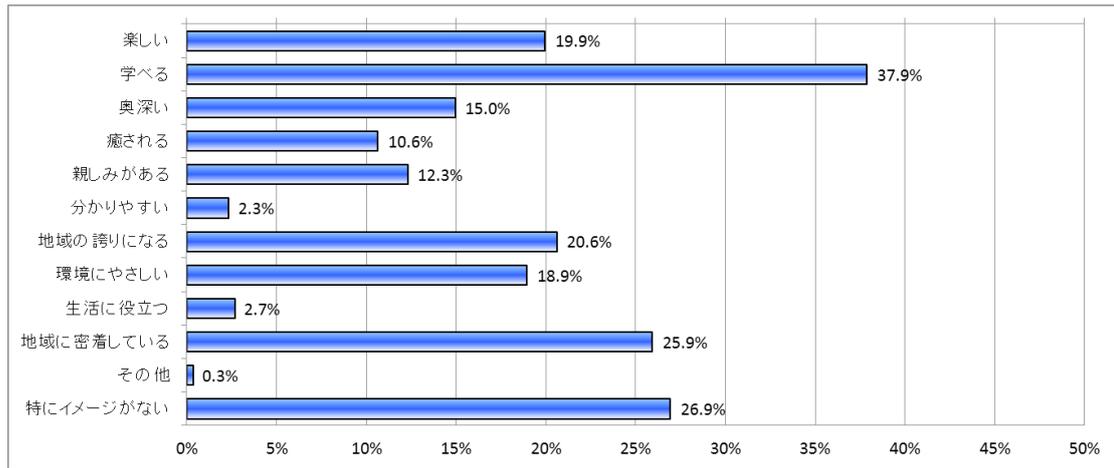
(1) あなたは、「伊豆半島ジオパーク」を知っていますか。(お答えは1つ) (N=350)

「伊豆半島ジオパーク」の名前を知っている人は全体の86%であり、認知度としては非常に高い数値がでました。但し、内容を含めて「知っている」ひとは32%。「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」というひとが、およそ半数を占めています。また、まったく知らないという方も全体の14%近くいました。



(2) 「伊豆半島ジオパーク」について、あなたはどのようなイメージをお持ちですか。(N=301)

「伊豆半島ジオパーク」に対するイメージを聞いたところ、「学べる」と答えたかたがもっともいました。また、「知っている」ひとと「名前は知っているが、内容は知らない」ひとの間で、「地域」との関係性に対するイメージが大きく分かれました。

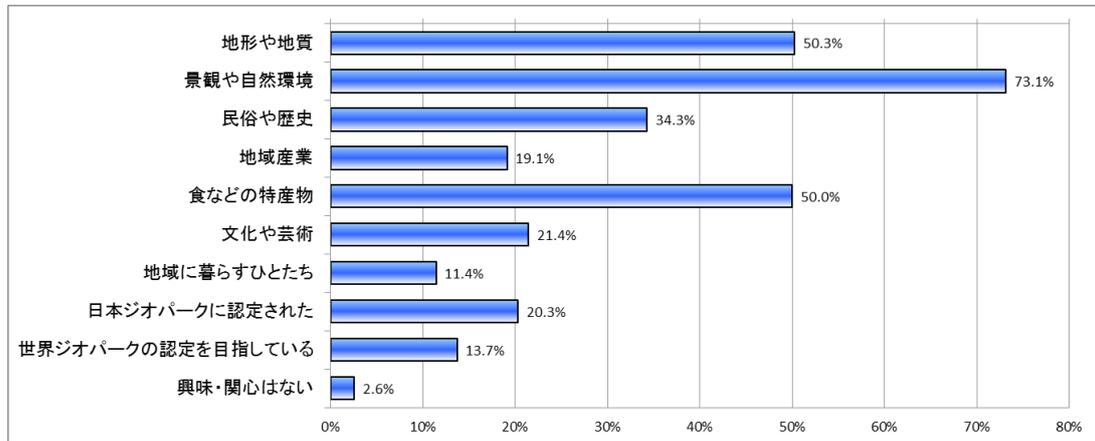


	全体	楽しい	学べる	奥深い	癒される	親しみがある	分かりやすい	地域の誇りになる	環境にやさしい	生活に役立つ	地域に密着している	その他	特にイメージがない
知っている	112	25.9%	47.3%	27.7%	11.6%	16.1%	5.4%	32.1%	18.8%	4.5%	38.4%	-	15.2%
名前は聞いたことはあるが、内容は知らない	189	16.4%	32.3%	7.4%	10.1%	10.1%	0.5%	13.8%	19.0%	1.6%	18.5%	0.5%	33.9%

(3) ①「伊豆半島ジオパーク」の活動で、あなたにとって関心があるものを全て教えてください。

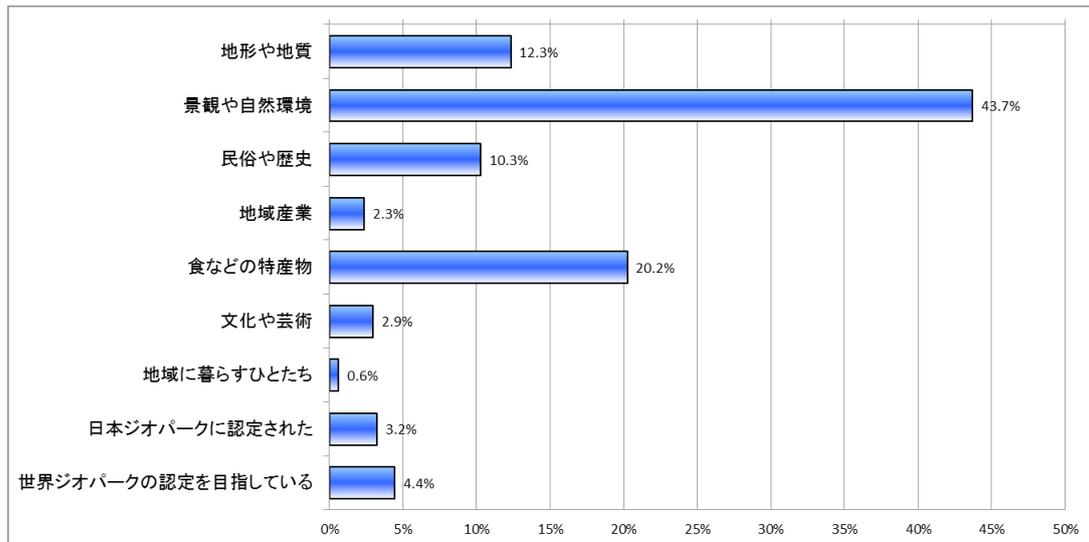
(N=350)

伊豆半島ジオパーク」に関する概要説明を提示したうえで、関心があるものについて聞いたところ、70%割以上の方が「景観や自然環境」に関心があると答えています。「地形や地質」「食などの特産物」についても半数以上のかたが、関心があると答えています。また男女の内訳で見ると、関心に差がみられる項目がありました。



	全体	地形や地質	景観や自然環境	民俗や歴史	地域産業	食などの特産物	文化や芸術	地域に暮らすひとたち	日本ジオパークに認定された	世界ジオパークの認定を目指している	興味・関心はない
男性	204	61.8%	75.5%	39.2%	19.1%	44.6%	18.6%	12.3%	23.0%	14.7%	1.5%
女性	146	34.2%	69.9%	27.4%	19.2%	57.5%	25.3%	10.3%	16.4%	12.3%	4.1%

(3) ②「伊豆半島ジオパーク」の活動で、あなたにとって関心があるものの中から最も関心があるものを1つ教えてください。(N=341)

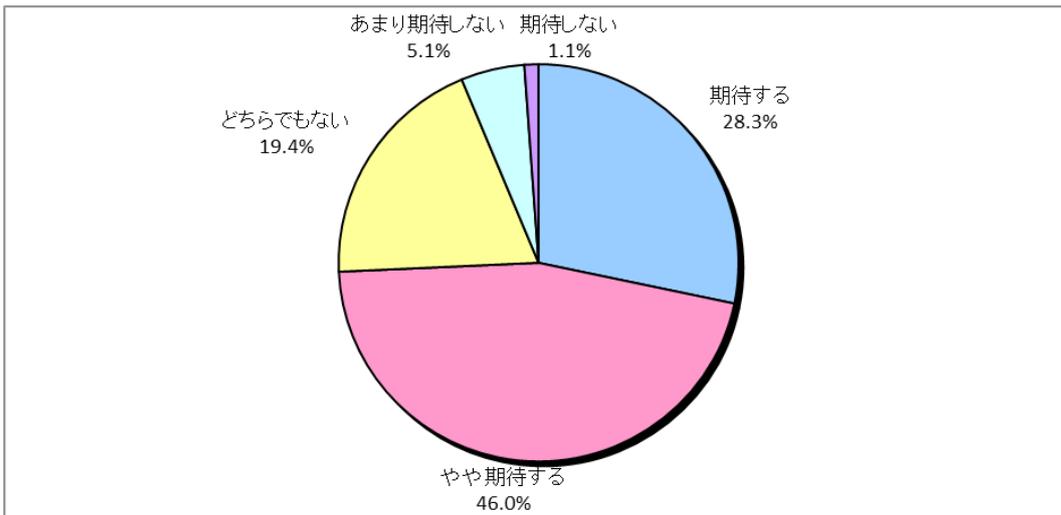


(3) ③「伊豆半島ジオパーク」の活動で、その他、「伊豆半島ジオパーク」について、関心があることがあればご記入ください。

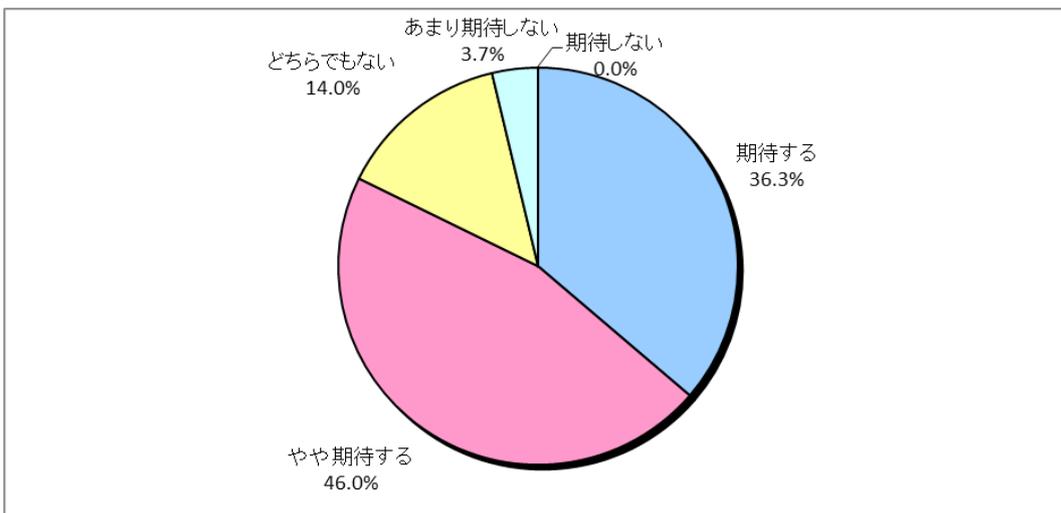
女性	61才	地質学と古代史をセットにしたら興味深いかも
女性	70才	海あり山あり温暖な地形で一年を通じてとても癒される地域だと思う。日本の中でも伊豆半島の絶景は世界にも誇れるのではないかと。もっと国内に知らせたい。
男性	78才	伊豆半島はハワイ諸島の一部か
男性	56才	地震予知
女性	39才	郷土の偉人
男性	58才	早く世界に認めてもらいたい
女性	52才	美味しいものが沢山あるのでもっと知りたい
女性	38才	子どもと行ってみたい。
男性	52才	交通の歴史、発達
女性	41才	子供達の勉強になりそう。
男性	54才	人とのふれあい
男性	61才	各地を実際に見たいと思う。
女性	27才	なんとなく名前しか知らなかったので行ってみたいです。
女性	52才	身近な地域だけに、歴史や民族の歴史をもっと詳しく知れたらいい
女性	21才	伊豆の色々な文化や環境が一言に知ることができそうな所に関心を持ちました。
女性	63才	ジオパークについて、調べようと思ってまいちよくわからなくて、もっとわかりやすく調べられるといいと思っています
女性	35才	自分たちが住んでいる町の、こんな身近に色んな発見があった。今おいてみようかなと思った場所がいくつかある。
男性	54才	火山や温泉について興味深い
男性	52才	伊豆は海と山が近く、いろいろな景色も楽しめる。その良さをもっと活かしたほうがいい
男性	70才	魅力の有る町をもっとアピールして欲しい
女性	40才	子供の自由研究などにも役立つといいと思った
男性	57才	伊豆半島の誕生と地形について
男性	41才	まだ、あまり認知されていないようなので、宣伝活動などもっとして欲しい
女性	39才	伊豆の豊かな自然と食物は専ら観光用として考えていたため、私学や歴史と総合して考えると言う視点に惹かれます。まずは身近な自然や産物に興味を持ちたいと考えました。
男性	39才	ガイドになる方法
女性	25才	未来に伝えるための勉強会をひらいている点など、さまざまな視点から、色々なイベントが企画されているのが魅力的。
女性	56才	岩肌や地層に自然が生んだ美しい曲線などがあって、視覚的にとても魅力がある。
女性	17才	伊豆半島がもっと有名になるきっかけになると思う
男性	64才	自然環境の維持管理
男性	71才	南の島からやってきて日本列島とくっついたことは驚きであり、その成り立ちと色々な火山島の跡が残っていて興味深い。
男性	50才	縄文時代の地形が知りたい
男性	39才	今までなにも知らなかった。県民に対する「伊豆半島ジオパーク」のアピールが足りないのではと思いました。
女性	69才	観光以外に沢山勉強になることがあるので、野外学習などで広めると良い
女性	30才	湯めぐりなどのイベントも催されていること。

(4)「伊豆半島ジオパーク」の活動が進むことによる、以下のような効果にあなたはどの程度期待しますか。(N=350)

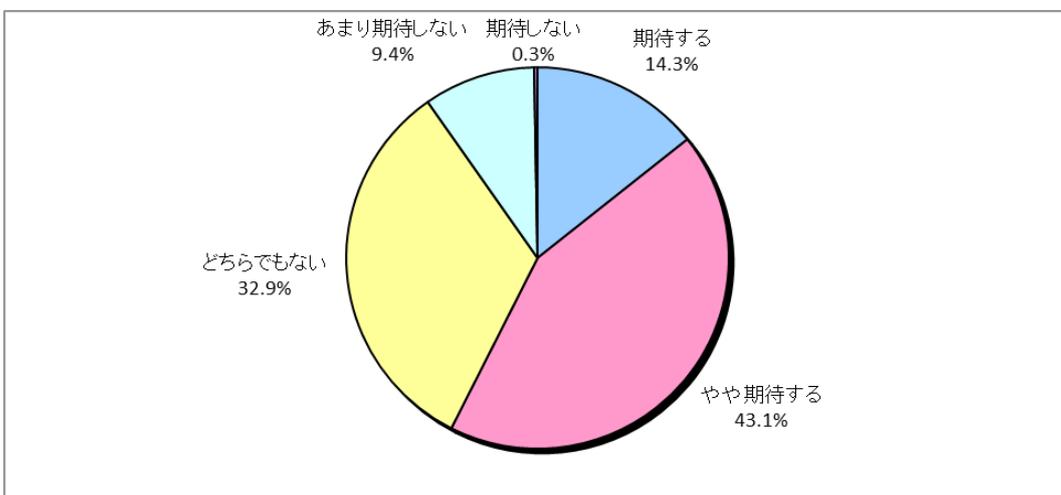
① 【観光の振興】について



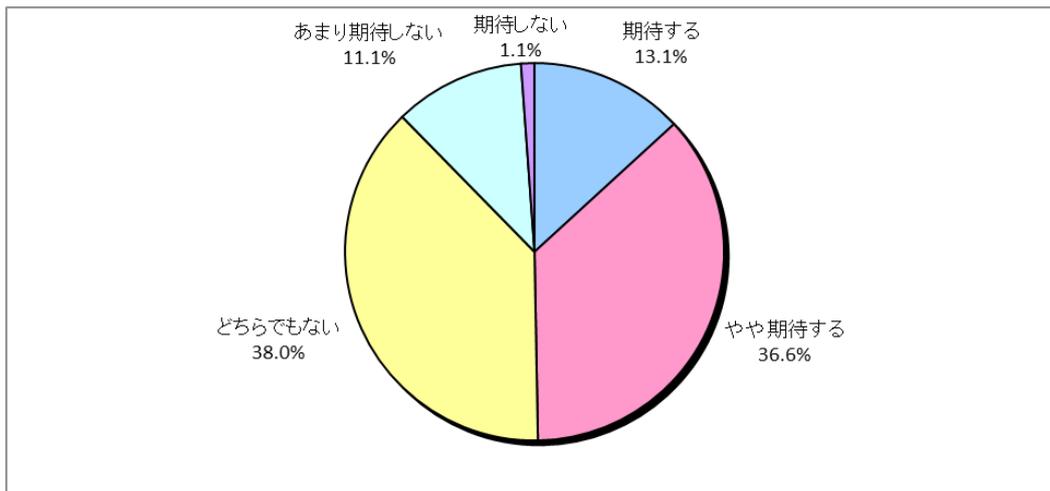
② 【自然・環境の保全】について



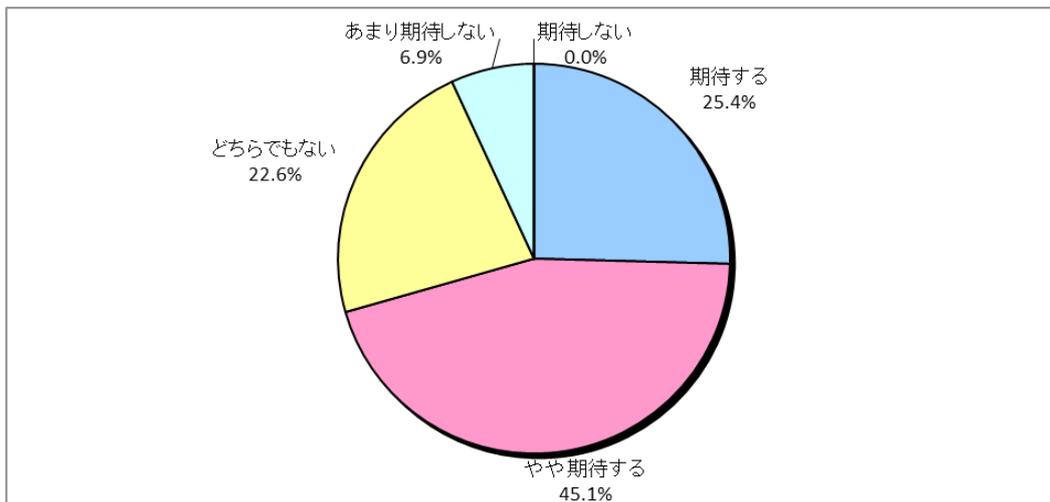
③ 【新しい地域産業】について



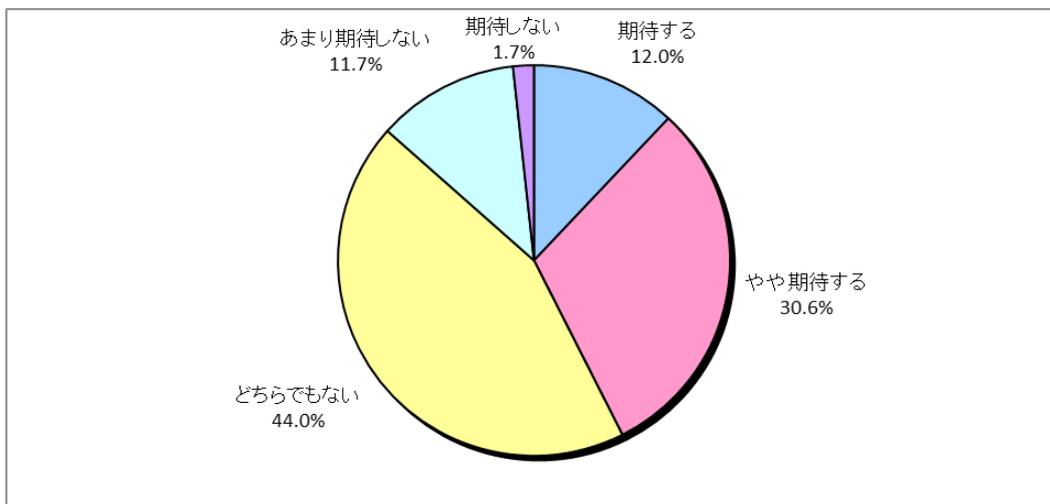
④【防災・減災の向上】について



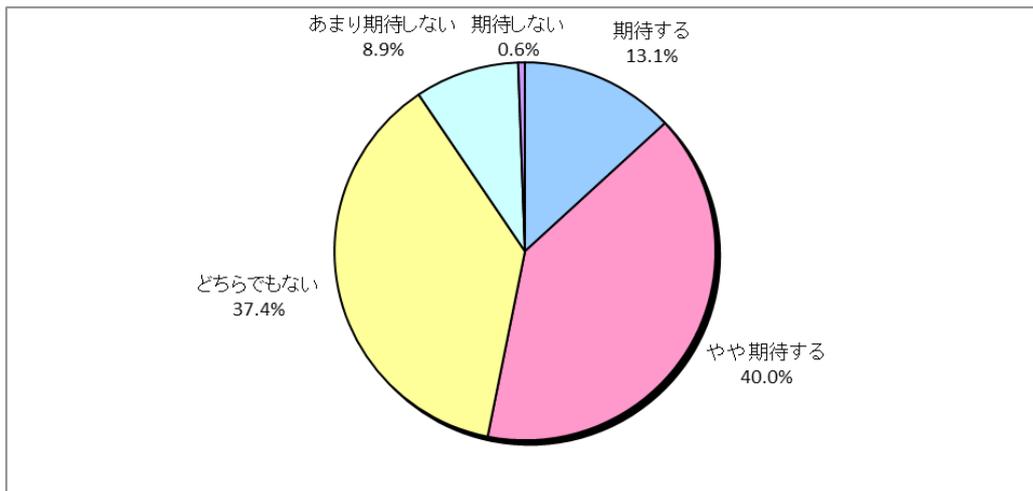
⑤【伊豆の知名度アップ】について



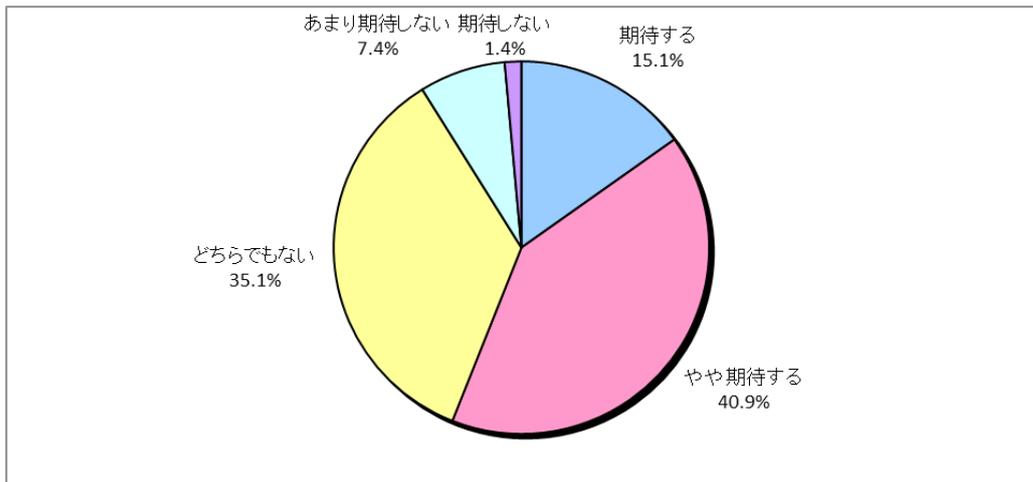
⑥【教育の充実化】について



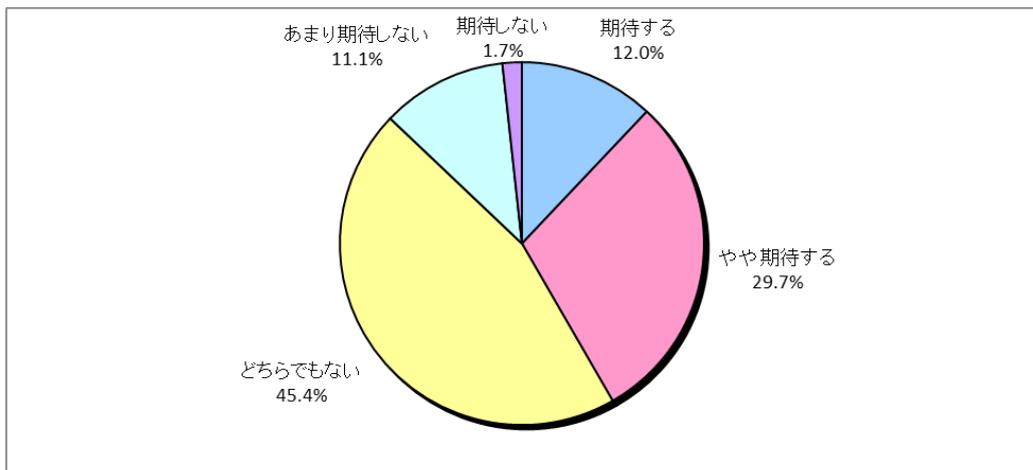
⑦【文化・芸術の活性化】について



⑧【伝統の継承】について



⑨【国際交流】について

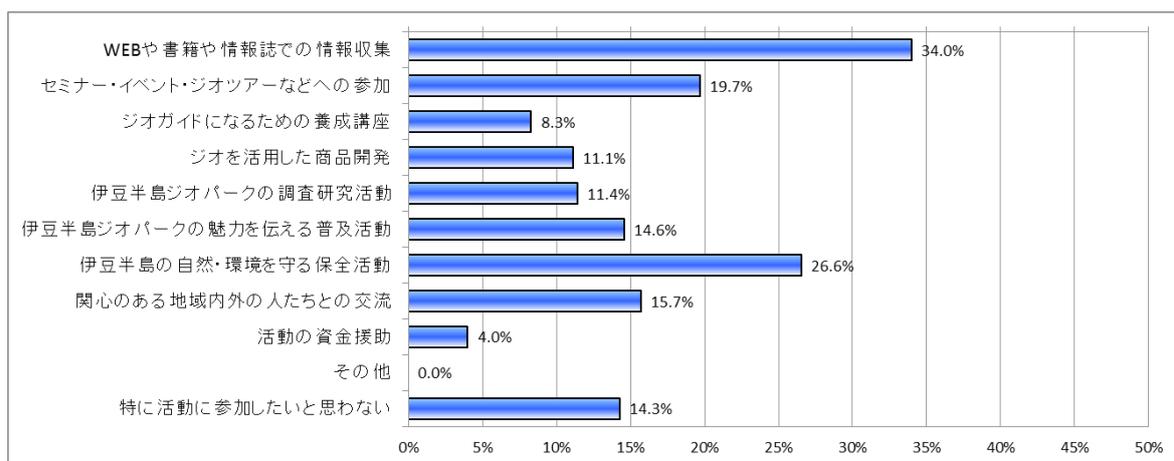


⑩その他「伊豆半島ジオパーク」に期待することがあればご記入ください。

男性	83才	新しい町おこし
男性	68才	地域のイベント重視
男性	59才	観光地プラス学術的な知名度も上げればよい。
女性	70才	もっといろいろなメディアで宣伝して少しでも伊豆の良さや環境保全について関心を持つようにしてほしい。
女性	63才	国内や海外からレジャーや自然保護を学ぶなど皆さんに来てほしいと思います。
女性	75才	伊豆を世界にアピールする絶好のチャンスにしたい
女性	35才	経済効果が上がること期待します。
女性	60才	近くに居ても、ジオパークという言葉を知らないのは問題だと思うが。。。観光ルートが活発になればいい。
男性	55才	伊豆半島の世界へのアピール
女性	53才	観光や映画撮影などの招致
女性	38才	交通の便が良いこと。
男性	54才	人とのふれあいの場を作る
女性	55才	現実的に自身に関わってくる事でないが、地域のためにもっと認知度を広めて欲しい
女性	42才	交通手段にかんして もっと改善して欲しい。
女性	53才	そこにしかないものが買えるとか、何か体験できるとか特化するものがあるのが欲しい。
女性	65才	知名度をアップしてから、次のことへ順次すすんでいくことが大事では。個人的にはグルメの宣伝は魅力ですが。
男性	37才	観光客が増えること
男性	49才	自然環境の保全。
女性	45才	地元の人が生活しにくくならないで欲しいと思います。
女性	27才	なにか新しい事を初めて下さい。
女性	21才	未来の伊豆のことについても積極的に知っていき、人々に知らせていけるよう期待します。
女性	35才	もっと地元なのに知らなかったことがありそうなので、発見して欲しい。
男性	47才	どのようにアピールしていくか、どの部分をアピールするのがわかりにくいので、検討して欲しい。
女性	53才	自然と共存した暮らしやすい町
男性	73才	これからますます発展すると、外国人観光客の増加を期待する。
男性	57才	自然保護とライフライン開発との両立
男性	41才	地域の人と人の交流
男性	39才	この活動自体の知名度アップ
女性	25才	伊豆の豊かな大地を来世へと継承していくこと
男性	48才	伊豆の文化的一体感
女性	17才	地域の活性化につながる
男性	71才	これを通じてもっと伊豆のPRをして欲しい
男性	50才	昔からの伝統を伝えて欲しい
男性	49才	情報通信網の活性化
男性	66才	若い人にもっと見に行きたくなるようなイベントを考えてほしい

(5) あなたは、今後「伊豆半島ジオパーク」のどのような活動に参加したいと思いますか。(お答えはいくつでも) (N=350)

今後「伊豆半島ジオパーク」のどのような活動に参加したいかを全員に聞いたところ、「WEBや書籍や情報誌での情報収集」が34%と最も多く、続いて、「保全活動」についても26%以上の関心がありました。また、「知っている」ひとは、「普及活動」や「交流」への関心が25%以上いることがわかりました。



2.ヒアリング協力関係者（敬称略）

- ①ジオガイド関係：伊豆半島ジオガイド協会メンバー
ガイド協会会長田畑朝恵、田畑みなお、浅田秀勝、土屋光示
渡辺攻、斉藤武、川口聴也、仲田慶枝
- ②教育関係：静岡県立伊豆総合高等学校 教諭上西智紀
- ③ビジターセンター関係：南伊豆町観光協会参与山口絹代
- ④商品開発関係：ジオガシ旅行団 鈴木美智子

3.課題検討会議概要

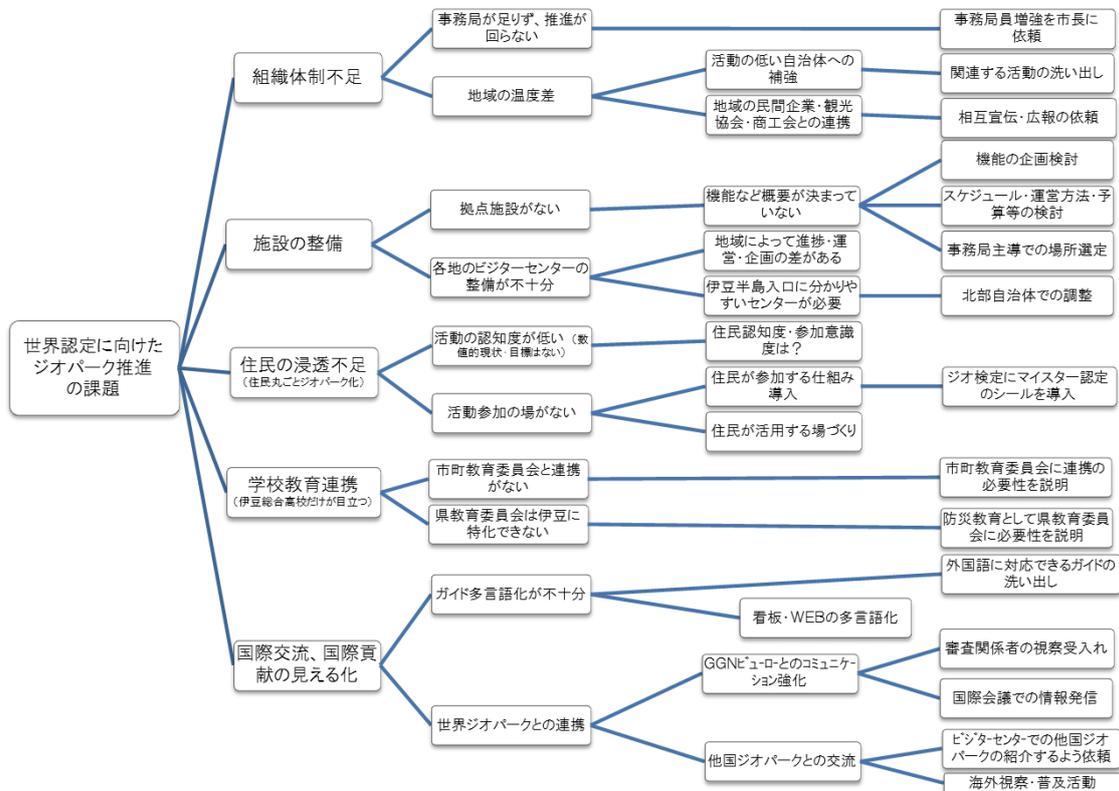
日時：2013年12月2日

会場：伊東市役所

参加者：伊豆半島ジオパーク協議会関係者

議題：地域全体が継続的に盛り上げられるようなジオパークの運営体制をどのように構築するか検討

以下に検討会議での意見を整理します。



課題検討会議で挙げられた課題と対策案

	早急性	中長期の取組み
事務局主導	<input type="checkbox"/> 事務局員増強を市長に依頼 <input type="checkbox"/> 拠点施設の概要検討 <input type="checkbox"/> 伊豆急行・箱根鉄道・東海バスへ相互宣伝・広報の依頼 <input type="checkbox"/> 入口となるビジターセンターについて北部自治体検討会議実施 <input type="checkbox"/> 各ビジターセンター運営担当同士の情報共有ツールの作成 <input type="checkbox"/> 検定にマイスターシール(住民が参加しやすい仕組み)を導入 <input type="checkbox"/> 市町教育委員会に教育連携の必要性を説明 <input type="checkbox"/> 防災教育として県教育委員会に教育連携の必要性を説明 <input type="checkbox"/> 世界ジオパーク審査関係者の視察受け入れ <input type="checkbox"/> 世界ジオパーク国際会議での情報発信 <input type="checkbox"/> ビジターセンターでの他国ジオパークの紹介するよう依頼 <input type="checkbox"/> 他国ジオパークへの海外視察・普及活動 ……	<input type="checkbox"/> 拠点施設の運営方法の検討 <small>住民協働で運営することで多様な効果があると考えられます(別紙)</small> <input type="checkbox"/> 住民への継続的な広報普及活動 ……
連携先が実働	<input type="checkbox"/> 拠点施設の機能・運営検討の手順決定 ・機能の検討 <small>→外部や関係者を招いた検討会議を開いてはどうか。</small> ・スケジュール・予算等概要の検討 <small>→早めに外部を巻き込んでプレスしてはどうか。</small> <input type="checkbox"/> 紹介すべき活動の収集 <small>→補強すべき自治体担当者に、防災・自然教育・観光など、ジオに関連しそうな活動の洗い出しを依頼してはどうか。</small> <input type="checkbox"/> 他国語対応ガイドの洗い出し <small>→各ビジターセンター運営者・ガイド協会に依頼。 ※三島市は外国語のできる職員を雇い、ガイド講座を受けさせている。</small> ……	<input type="checkbox"/> ジオパーク大会の伊豆半島版開催 <small>市町バトル開催で地域差を埋めていく(市町連携)</small> <input type="checkbox"/> 看板・WEBの多言語化(市町連携) <input type="checkbox"/> ガイドツアーの多言語化を補強するツール(看板・アプリ)の充実化 <input type="checkbox"/> ガイド・ツーリズムのビジネスモデルやネットワークづくり <input type="checkbox"/> 学校教育の連携計画と実績づくり <input type="checkbox"/> 保護・保全活動 <small>実施すべき事項は多い。</small> ……

現在の状況を踏まえた実施すべきと考えられる事項

4.ワークショップ「伊豆半島ジオパークの目指す未来の姿を考えるセッション」概要

目的：伊豆半島ジオパークの目指す未来、それに向けてやることを考えるためのワークショップ

日時：2014年1月17～19日 各日13：00～18：00

会場：1月17日（金）下田市民文化会館

1月18日（土）伊豆総合文化会館

1月19日（日）伊東市役所

参加対象：伊豆半島ジオパーク協議会関係者・伊豆半島ジオパークに関心のある住民

募集方法：・伊豆半島ジオパーク協議会関係者へのメール

・12月中旬～1月初旬にかけて公式ホームページを通じて行った公開募集

・当日申し込み

参加者：1月17日（金）下田市民文化会館 37名

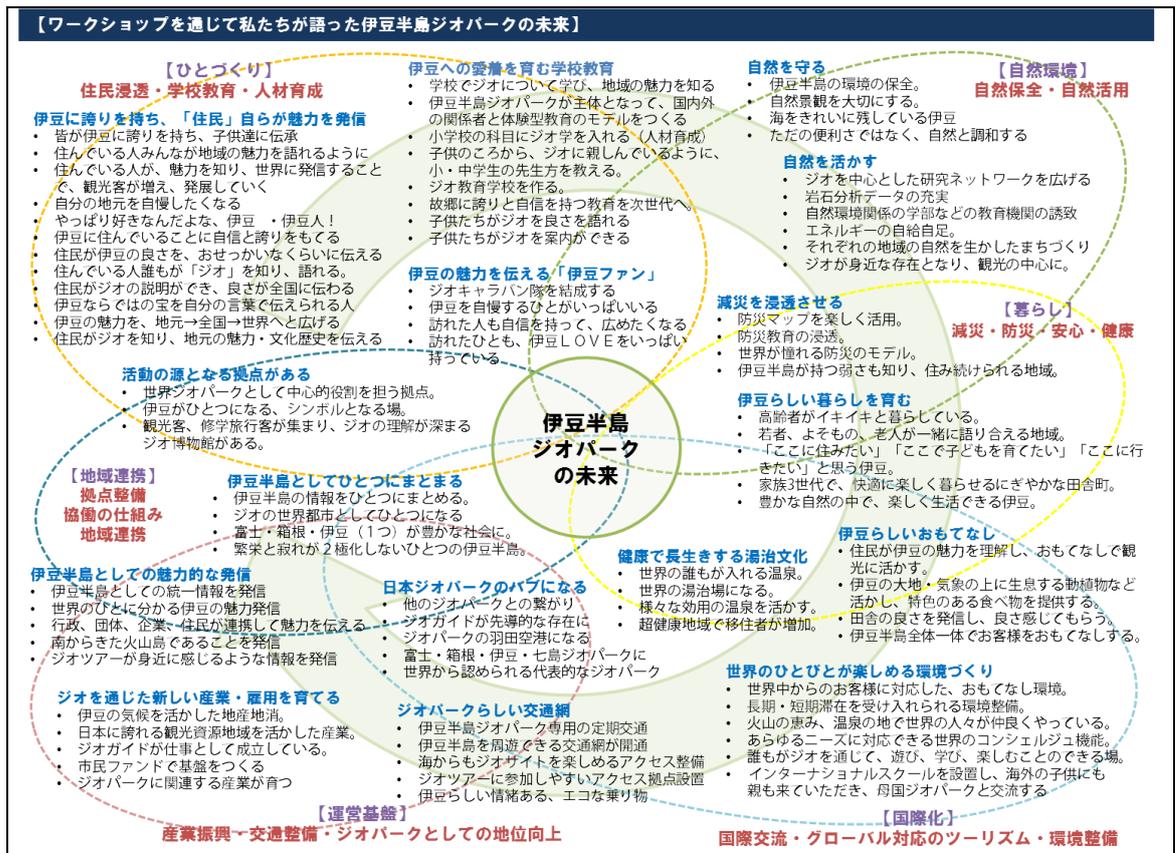
1月18日（土）伊豆総合文化会館 26名

1月19日（日）伊東市役所 30名

ワークショップ内容：

- 伊豆半島ジオパークの可能性を考える
 - ・専任研究員からのトーク「ジオパークの概念」
 - ・伊豆半島の可能性を出し合う
- 「伊豆半島ジオパークの目指す未来」を考える
 - ・インタビューを通じて各自の想いを出し合う
 - ・全員の想いを共有し、分類して新しいグループを作る
- 「伊豆半島ジオパークの目指す未来に向けてやること」を作る
 - ・情報を集め、アイデアシートを作る
 - ・ポスターセッションでアイデアを膨らます
 - ・未来年表を作成する
- 未来年表の発表

「伊豆半島ジオパークの未来」についてワークショップを通じて語られた内容まとめ：



ワークショップの様子



2014年1月17日 下田会場



2014年1月18日 修善寺会場



2014年1月17日 伊東会場



伊豆半島ジオパーク推進協議会

平成26年3月版

伊豆半島ジオパーク推進協議会(伊東市役所観光課内)
〒414-8555 伊東市大原2-1-1
TEL : 0557-32-1784 FAX : 0557-38-2867